

認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド

2018 年度事業活動報告 2018 年 10 月 1 日～2019 年 9 月 30 日

1.「越智基金・市民活動支援基金」、「いぶり基金」「まちのプロジェクト基金」「コープ 2018 年北海道地震ボランティア応援基金」「米山友愛 RC・風越カップ-北海道応援基金」「平成 30 年 7 月豪雨災害支援基金」の 6 基金から NPO への助成金配分事業を行いました。

1)越智基金・市民活動支援基金

一般公募により、道内の NPO 法人・市民活動団体への助成を実施しました。

応募総数 12 団体 助成決定団体:5 団体 助成総額:50 万円

2) 北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地支援基金(いぶり基金)

北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地における支援活動を支えるために基金を立ち上げ、下記の要領で被災地の支援、被災者・避難者を支援する活動支援活動等を行う NPO への活動支援金の助成を行うことといたしました。

(一般助成枠)

助成決定団体:14 団体 助成総額:1,800,000 円

(特別助成枠)

助成決定団体 2 団体 助成総額 490,000 円

3)まちのプロジェクト基金

組織診断+クラウドファンディングを特徴にした、組織力向上を意図した新しい助成プログラムです。

助成決定団体 2 団体 助成総額 4,283,711 円

4)コープ 2018 年北海道地震ボランティア応援基金

北海道生協連さまより、胆振東部地震被災地における NPO・ボランティア団体による支援活動に対する助成を目的に造成された冠基金です。助成は、3 年間 900 万円の予定です。

助成決定 13 団体 助成総額 491 万 8 千円

5) 米山友愛 RC・風越カップ-北海道応援基金

東京米山友愛ロータリークラブさまにより、胆振東部地震被災地において子ども・スポーツをキーワードに支援活動する団体のために造成された冠基金です。

助成決定 2 団体 助成総額 18 万円

6) 平成 30 年 7 月豪雨災害支援基金

西日本に大きな被害をもたらした豪雨災害に対する北海道内団体の支援活動を対象

にした基金です。

助成決定 1 団体 10 万円

第 2 回公募には申し込みがなく、基金残額 11 万円は、理事会協議により岡山の「ももたろう基金」に寄付しました。

2. 個人や団体等からの基金の原資を増やす下記の活動を行いました。

1)各基金の寄付額は以下の通りです。

基金名	金額 [円]	備考
越智基金	100000	寄付受付を終了し、市民活動支援基金に移行します。※本年は越智氏の親族の方より寄付申し出がありお受けしました。
北のNPO基金 【市民活動支援基金】	4500	
コープ 2018 年 北海道地震ボランティア応援基金	900 万円	北海道生協連様により、胆振東部地震被災地の活動を支援するために造成された冠基金です。助成は 3 年間の予定です。
いぶり基金	6354109 円	胆振東部地震被災地における NPO 等支援活動のために造成されました。ヤフーネット基金登録中。
いぶり基金特別枠	450 万円	バイナンス様の寄付により胆振東部地震被災地の中長期的支援のために造成されました。
匿名希望者さまよりのいぶり東部地震被災地支援のための基金	500 万円	匿名様より、胆振東部地震被災地で活動する団体を指定した冠基金です。
米山友愛 RC・風越カップ-北海道応援基金	18 万円	東京米山友愛ロータリークラブさまにより、胆振東部地震被災地における、子どもを対象とした活動に助成する目的で造成された冠基金です。
まちのプロジェクト基金	4283711 円	2 団体合計。
東日本被災者支援基金	0	運営終了
子ども基金	0	18 年に造成。
瀧谷きく基金	0	運営終了
西日本支援基金	0	運営終了
ハンドくんファンド	0	北の NPO 基金の運営自体を支援していただくために造成された基金です。ヤフーネット基金登録中。

合計	29422320 円	
----	---------------	--

3. 北のNPO基金の活動

運営実態に合わせて、北の NPO 基金規約を 2018 年 12 月に変更しました。

2019 年 2 月に、「いぶり基金」をヤフーネット基金に登録し、9 月末までにおよそ 200 万円の寄付を集めました。また 9 月には、北の NPO 基金の運営費に充てられる「ハンドくんファンド」を造成し、同じくヤフーネット基金に登録しました。

4. 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンドとしての活動

1)2018 年度、2019 年度年賀寄付金助成事業「非営利公益活動の集成的成果を拡大するための社会的インパクト評価促進事業」

非営利公益活動の分野で経営資源に乏しい団体が活躍するためには、直接的な協働だけでなく、住民をも巻き込んだ間接的な協働が必要となる。本事業はモデル団体に対して、社会的インパクト評価を実施し「コミュニティにとって望ましい変化」が起きる道筋を示し、NPO 等の自発的社会的インパクト評価の実施を促し住民参加につなげることを目指します。4 団体をモデル団体として、社会的インパクト評価を実施し、2019 年 3 月に成果報告会を開催。2019 年度も同事業で採択され、継続 2 団体に新たに 3 団体を加え、5 団体に対して評価を実施しています。

2)SIMI(社会的インパクトマネジメントイニシアチブ)運営メンバー、全国コミュニティ財団協会正会員として活動しました。

2019 年 10 月になりましたがSIMIの連携講座を開催しました。社会的インパクト評価や組織評価は、助成事業との関連で語られることが増えてきました。当会としても、引き続き情報の収集や関連イベントの開催を検討します。全国コミュニティ財団協会の活動については、遺贈関連のフォーラムに WEB 参加した以外にはできませんでした。

3)赤い羽根共同募金助成事業を実施しています。

2019 年から 20 年にかけて休眠預金助成が始まることを受け、社会的インパクトに関するセミナーを企画して採択されました。

4)北海道ろうきん社会貢献助成事業を実施しています。

社会的インパクト評価という言葉は、助成事業や金融、そして SDGs との関りにおいて散見されるようになりました。北海道 NPO ファンドとしては、今後も事業評価の普及、啓発、実践を続けます。

5)非営利組織評価センターの評価員養成研修に参加しました

JCNE の評価員養成研修に参加し、実地に組織評価を学ぶ研修に参加しています。この研修に参加するに際しては、北海道 NPO ファンドが JCNE の「ベーシック評価」を受ける必要があり、準備を進めています。

2018 年度事業活動計画

2019 年度事業活動計画(案) 2019 年 10 月 1 日～2020 年 9 月 30 日

1. 「いぶり基金」「いぶり基金特別枠」「コープ 2018 北海道地震ボランティア応援基金」「越智基金・市民活動支援基金」の助成事業を実施します。また、北の NPO 基金の運営体制を、基金ごとの趣旨に沿って運営できるように、選定委員の体制を見直します。選定委員の方々にはいままでよりも基金運営に関わっていただけるようになります。※北の NPO 基金は、市民活動支援基金(一般助成)、プロジェクト基金(事業指定型寄付助成)、冠基金から構成されています。

2. 第 2 期「まちのプロジェクト基金」を実施します。組織診断から資金調達、事業実施までを支援対象とするプログラムを第 1 期に指摘された課題を踏まえて実施します。地方で必要となるといわれている「多機関連携」を意識した支援を行います。

3. 各種の助成申請を試みます。2 年目となる社会的インパクト評価促進事業を実施中の年賀寄附金助成については 3 年目の採択を目指し申請中です。このほかにも、適宜、助成申請を試みます。

4. エリア(地域)基金(当ファンドの北海道内展開)を検討します。

2018 年度は、6 月に開催された当ファンド運営委員会でも検討しましたが具体化には至りませんでした。北海道の市民活動をめぐる資金循環の実現のためには、札幌拠点の当ファンドだけでは十分とは言えないことから、旭川など道内中核市の NPO 支援センターと連携したエリア基金造成の可能性、実施体制などの検討を行います。

5. 基金の普及・啓発活動

北海道 NPO ファンドおよび北の NPO 基金の活動を一般に周知するため、2017 年から加盟した全国コミュニティ財団協会における研修への参加を検討します。

6. 遺贈・寄付の相談窓口業務開始に向けた調査と準備を行います

今後 NPO にたいする遺贈を考える方が増えるという予測のもと、当法人が専門家ネットワークの窓口として遺贈や寄付の相談にあたるべく準備を進めます。全国コミュニティ財団協会や全国レガシーギフト協会を通じた情報収集を続けます。

7. 北海道 NPO サポートセンター、北海道 NPO バンク、NPO 推進北海道会議との連携を積極的に実施しつつ、各種調査対応、メディアへの掲載等の情報発信を通じて、個人や団体等からの基金の原資を増やす活動を行います。

**1. 「越智基金・市民活動支援基金」、「いぶり基金」「コープ 2018 年北海道地震ボランティア
応援基金」「宮本英基金」「厚真子ども応援基金」「まちのプロジェクト基金」「クラブメッド
基金」の 7 基金から NPO への助成金配分事業を行いました。**

1)越智基金・市民活動支援基金

一般公募により、道内の NPO 法人・市民活動団体への助成を実施しました。コロナ禍を踏まえ助成枠を例年より拡大、申請書も更新し、事業継続の意欲を持つ団体に助成しました。
応募総数 18 団体 助成決定団体:18 団体 助成総額:126 万円(各団体に 7 万円助成)

2) 北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地支援基金(いぶり基金)

2020 年以降コロナ感染症の影響により、活動に支障が出るのが懸念され、理事会において日程通りに進まない場合の対処を議論し、延長申請の準備を整えました。

北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地における支援活動を支えるために基金を立ち上げ、下記の要領で被災地の支援、被災者・避難者を支援する活動支援活動等を行う NPO への活動支援金の助成を行うことといたしました。

(一般助成枠)

助成決定団体:19 団体 助成総額:4,909,000 円

(特別助成枠)

助成決定団体 2 団体 助成総額 2,000,000 円(うち 1 団体は延長申請をし、2020 年 11 月に完了報告を提出)

3)まちのプロジェクト基金

組織診断+クラウドファンディングを特徴にした、組織力向上を意図した新しい助成プログラムです。2019 年度は第 2 期の公募を実施、2 団体がエントリーしました。コロナ感染症の影響による日程の遅れがあり、助成には至っていません。

参考)第 1 期実績：助成決定団体 2 団体 助成総額 4,283,711 円

4) コープ 2018 年北海道地震ボランティア応援基金

北海道生協連さまより、胆振東部地震被災地における NPO・ボランティア団体による支援活動に対する助成を目的に造成された冠基金です。助成 2 年目となる今年度は、主に被災の大きかった厚真町、安平町、むかわ町の 3 町の団体を対象として助成しました。事務局が中間ヒアリングを実施したところ、1 団体が予定通りに事業を実施できないという回答がありましたが、多くは工夫を重ねてコロナ禍においても事業を遂行されていました。助成は、

3年間 900万円の予定です。

助成決定 8団体 助成総額 300万円

5)宮本英基金

宮本英樹氏による、北海道内で体験活動を行う団体への助成をする基金です。成団体を指定する助成事業であり公募はしませんでした。

助成 3団体、助成総額 300万円

6) 厚真町子ども応援基金

匿名希望者様により造成された、胆振東部地震被災地である厚真町の子どもを支援する活動に助成する基金です。助成団体を指定する助成事業であり公募はしませんでした。実施団体からは年度ごとに事業計画を出していただき、助成金を拠出します。

2019年度助成額 90万円、助成予定総額 500万円

7) Club Med Tomamu(クラブメッドモムム)基金

2019年9月開催の環境フェス「Green Beats Tomamu Hokkaido」の収益金を活用した、胆振東部地震被災地支援活動団体を指定した総額 1276000円の冠基金です。株式会社クラブメッドさまにより造成されました。

助成団体を指定した基金であり公募は行いませんでした。

助成 4団体 助成予定総額 127万6千円

2. 個人や団体等からの基金の原資を増やす下記の活動を行いました。

1) 各基金の寄付額は以下の通りです。

基金名	金額 [円]	備考
越智基金	0	寄付受付を終了し、市民活動支援基金に移行します。
北のNPO基金 【市民活動支援基金】	602200	越智基金の後継と位置付けられる、市民活動向け・使途限定なし・少額助成を意図した基金です。
コープ2018年北海道地震ボランティア応援基金	0	北海道生協連様により、胆振東部地震被災地の活動を支援するために造成された冠基金です。総額 900万円、寄付募集はしません。
いぶり基金	776557 円	胆振東部地震被災地におけるNPO等支援活動のために造成されました。ヤフーネット基金登録中。

いぶり基金特別枠	0	バイナンス様の寄付により胆振東部地震被災地の中長期的支援のために造成されました。総額 500 万円、寄付募集はしません。
厚真町子ども応援基金	0	匿名様より、胆振東部地震被災地で活動する団体を指定した冠基金です。総額 500 万円、寄付募集はしません。
Club Med Tomamu	1276000	「Green Beats Tomamu Hokkaido」の収益金を活用した、胆振東部地震被災地支援活動団体を指定した総額 1276000 円の冠基金です。寄付募集はしません。
宮本英基金	3300000	宮本氏による野外体験活動を行う団体への助成を行う基金。総額 330 万円、寄付募集はしません。
まちのプロジェクト基金	0 円	2021 年以降第 2 期寄付集めの予定
東日本被災者支援基金	0	運営終了
北海道災害復興支援基金	111000	いぶり基金の後継と位置付けられる、平時から災害に備え、支援団体の活動を支える基金。
北海道災害復興支援基金コロナ特別	300000	コロナ起因により影響を受けた市民活動やコロナ感染症対策活動への助成目的の基金。
47 コロナ基金	0	宮城県の財団・さなぶりと全国コミュニティ財団協会によるキャンペーンに参加し、コロナ感染症により変化を迫られたり、変化を志向する団体への助成をするための基金。
ハンドくんファンド	69001	北の NPO 基金の運営自体を支援していただくために造成された基金です。ヤフーネット基金登録中。
合計	6434758 円	

3. 北の NPO 基金の活動

専用サイトの運営のほか、北海道災害復興支援基金のサイトを開設しました。昨年から引き続きヤフーネット基金に北海道 NPO ファンドの運営支援をしていただく「ハンド君ファンド」を登録しています。

4. 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンドとしての活動

1) 休眠預金活用に関わる活動

- ・ 一般財団法人日本民間公益活動連携機構の「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」の資金分配団体として「北海道リスタート事業～社会的居場所を失った人に新たなつながりを」を実施。

2020年7月に、休眠預金の民間公益活動への活用を管理する一般財団法人日本民間公益活動連携機構の「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」に内定、8月から公募開始しました。北海道 NPO サポートセンター、北海道総合研究調査会との連携事業です。

第1次公募は応募15団体、内定7団体。合計10～12団体を採択する予定です。単年度事業で、事業総額はおよそ6000万円、助成総額は5000万円です。

- ・ 休眠預金助成の2020年度一般枠に申請(10月資金分配団体に内定)
コープさっぽろ、北海道 NPO サポートセンターとの連携により、総額5000万円程度、北海道内の3団体への助成を内容とした計画を、日本民間公益活動連携機構に申請しました。採択された場合には、2024年初頭までの事業になります。

2)2018年度、2019年度、2020年度年賀寄付金助成事業「非営利公益活動の集成的成果を拡大するための社会的インパクト評価促進事業」

非営利公益活動の分野で経営資源に乏しい団体が活躍するためには、直接的な協働だけでなく、住民をも巻き込んだ間接的な協働が必要となる。本事業はモデル団体に対して、社会的インパクト評価を実施し「コミュニティにとって望ましい変化」が起きる道筋を示し、NPO等の自発的社会的インパクト評価の実施を促し住民参加につなげることを目指します。5団体をモデル団体として、社会的インパクト評価を実施しましたが、コロナ感染症の影響により成果報告会は開催できませんでした。未実施部分については助成金を返還しました。2020年度は、継続4団体に対して評価を実施しています。

3) 新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会-行政とNPOの連携枠組みに参加しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に対処するため、行政とまちづくり活動団体が連携し、一体となって助成の方向性を協議し、喫緊のニーズを踏まえた支援を迅速に進めることを目的に、2020年5月20日に設立。札幌市、札幌市市民活動サポートセンター、札幌チャレンジド、北海道 NPO サポートセンターとともに運営メンバーとして参加。札幌市を対象としたさぽーとほっと基金助成の周知や広報などに関わったほか、北海道災害復興支援基金にコロナ特別枠を設け、北海道内の市民団体のコロナ起因により影響を受けた活

動や、対策活動への助成を目指し寄付募集を実施しました。

4) SIMI(社会的インパクトマネジメントイニシアチブ)運営メンバー、全国コミュニティ財団協会正会員、全国レガシーギフト協会正会員として活動しました。

・SIMI(社会的インパクトマネジメントイニシアチブ)

2019年10月にSIMIの連携講座を開催しました。社会的インパクト評価や組織評価は、助成事業やSDGsとの関連で語られることが増えてきました。当会としても、引き続き情報の収集や関連イベントの開催を検討します。また2020年7月には、SIMIによるイベント「緊急時の社会的インパクト」の運営に当会スタッフが参加しました。

・全国コミュニティ財団協会

47 コロナ基金(さなぶり運営、全国コミュニティ財団協会協力)への参加が、主な活動でした。47 コロナ基金は全国の地域に密着したコミュニティ財団による連携キャンペーンであり、各々の財団の規模の小ささを補う可能性があります。同協会は、当会と同様休眠預金資金分配団体にも選ばれており、この点でも、知識の共有や活動面での連携などが生じる可能性があります。コロナ感染症の影響により、研修やブロック会議が残念ながら実施されませんでしたので再開を期待したいです。年会費5万円。

・全国レガシーギフト協会

7月に正会員として加盟が認められ、当会として遺贈寄付の相談窓口業務を開始しました。年会費10万円。

5) いぞう寄付の相談窓口業務

全国レガシーギフト協会に加盟したことにより、7月から遺贈寄付の相談窓口を開始しました。相談自体は年度内にはなく、10月に1件ありました。専用サイトを開設し広報をしています。

また、19年度は、直接相談窓口を経由したわけではありませんでしたが、1件当会が遺贈寄付の受贈者と指定されました。金額や時期は未定です。

超高齢化社会を迎え、独り身の方や高齢の方が社会や故郷に有意義に財産を活用してほしいという相談が増えていくことが予想されます。

6)赤い羽根共同募金助成事業として、千歳市との共催により「市民協働フォーラム」を開催しました。

2019 年から 20 年にかけて休眠預金助成が始まることを受け、社会的インパクトに関するセミナーを企画して採択されました。2019 年 10 月 26 日に、千歳市との共催で「市民協働フォーラム」を開催、第 2 部の事業評価について、赤い羽根共同募金助成事業としました。講師には、一般財団法人 CSO ネットワークの■■■■さんと■■■■さんをお招きしました。事業評価、社会的インパクト評価というテーマで、地方都市でフォーラムを開催するのは初めてでしたが、千歳市の尽力により、およそ 30 の方が参加し、「また事業評価のセミナー」を開催してほしいという声もきかれました。

7)北海道ろうきん社会貢献助成事業として、社会的インパクト評価セミナーを開催しました。

2019 年 10 月 27 日、千歳市との共催フォーラムの翌日に、再び一般財団法人 CSO ネットワークの■■■■さんと■■■■さんを講師に迎えてセミナーを開催しました(参加 35 人)。午前中は実習時間として、いま社会的インパクト評価に取り組む 4 団体がロジックモデル作成と指標の設定に取り組みました。旭川 NPO サポートセンター、NPO 運営サポートあの屋、北海道 NPO サポートセンターからそれぞれ 1 人ずつメンターとして実習をサポートしました。

午後は、■■■■さんの講義と、支援者、事業者、中間支援団体それぞれの立場から、北海道の NPO 事業評価についてパネルディスカッションを行いました。

社会的インパクト評価という言葉は、助成事業や金融、そして SDGs との関りにおいて散見されるようになりました。北海道 NPO ファンドとしては、今後も事業評価の普及、啓発、実践を続けます。

8) 非営利組織評価センター(JCNE)共催「非営利組織のための第三者組織評価のすすめ」を開催しました。

2019 年 10 月 16 日、非営利組織評価センターの■■■■さんを講師にお迎えしました。

社会的インパクト評価が事業評価と呼ばれるのに対して、これは組織評価と呼ばれています。「NPO 等が継続的に活動するために組織運営の状態について、団体からの提出書類に基づき、評価を行うもの」と言われています。参加は 10 団体でした。

評価の結果は JCNE のホームページに掲載され、資金調達に好影響をもたらすものと期待されています。JCNE の組織評価は、前述の休眠預金助成はじめいくつかの助成団体において、申請書におけるチェック項目となっています。今は任意項目にとどまっていますが、こうした動きが広まったときに、北海道の NPO が戸惑うことのないよう、当会としてもこの制度への協力と同時に情報収集と研究を続けていきます。

9)非営利組織評価センターのベーシック評価を受けました

基本的なガバナンスについて 23 項目によりチェックするベーシック評価を受け、すべての基準を満たしていると評価されました。

2020 年度事業活動報告 2020 年 10 月 1 日～2021 年 9 月 30 日

0. 2020 年度の助成事業概況

助成した、または運営中の基金は 14(休眠預金助成 2 つ、47 コロナ助成 2 つを含む)。このうちコロナ禍の非営利活動への助成を行う基金が 4、2018 年 9 月発災の胆振東部地震被災地支援活動支援のための基金が 3 つでした。

2020 年度の支払い助成金の総額は 7226 万円でした。

年度(10～9月)	経常収入	支払い助成金
2015	178,549	1,040,000
2016	517,412	3,197,501
2017	2,649,757	3,795,258
2018	34,100,288	12,021,711
2019	9,890,089	14,499,000
2020	84,121,972	72,261,270

1.助成実績

休眠預金等活用法による助成については、別途項目立てます。

北のNPO基金の全体像は、別紙資料をご覧ください。小さな基金を目的や依頼に応じて造成するために、基金数が増え全体像をつかみにくいというご意見をいただきました。NPOの活動やニーズが多様であることから、ある程度基金数が細分化され増えるのは仕方ない面もありますが、目的を達したらすみやかに運営を終了するなど、管理業務を増大させない工夫も認識しています。

1)越智基金・市民活動支援基金

一般公募により、道内のNPO法人・市民活動団体への助成を実施しました。今年は7~10団体の採択を予定していましたが、予想を大きく上回る26団体から申請があり、選定委員会および理事会で協議のすえすべての団体に助成し、コロナ感染症の影響がある中で活動する市民活動の再スタートを後押しすることとしました。

応募総数 26 団体 助成決定団体:26 団体 助成総額:137 万円

2) 北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地支援基金(いぶり基金)

今年度第 8 回の助成を終え、基金残額が事実上ゼロとなりました。寄付募集を中止し、以後は「北海道災害復興支援基金」がその役割を引き継ぐこととなります。

いぶり基金は、北海道いぶり東部地震及び台風 21 号北海道内被災地における支援活動を支えるための基金です。

(一般助成枠)

助成決定団体 5 団体 助成総額:900,000 円。決算終了後の基金残額については、直前に予定されていた同趣旨のコープ 2018 年北海道地震ボランティア応援基金に繰り入れて助成することとします。その他の残額は北海道災害復興支援基金に繰り入れます。

(特別助成枠)

基金残額 201 万円。本年度は助成ありませんでした。北海道 NPO サポートセンターと意見交換をしながら中長期的観点による助成を目指します。

3)まちのプロジェクト基金

組織診断+クラウドファンディングを特徴にした、組織力向上を意図した新しい助成プログラムです。2019 年度は第 2 期の公募を実施、2 団体がエントリーし採択されました。寄付募集を行ったのは 1 団体であり、もう 1 団体は辞退しました。

助成決定 1 団体 210800 円(寄付額は 248000 円)

参考)第 1 期実績:助成決定団体 2 団体 助成総額 4,283,711 円

4)コープ 2018 年北海道地震ボランティア応援基金

北海道生協連さまより、胆振東部地震被災地における NPO・ボランティア団体による支援活動に対する助成を目的に造成された冠基金です。今年は 3 年助成の 3 年目となりました。3 年間でおよそ 900 万円を助成しました。

助成決定 7 団体 助成総額 125 万円 基金残額およそ 15 万円

基金残額は、選定委員会における「成果報告会や被災地活動の重要性を伝えてもらうような活動に当ててもらいたい」という意見に沿って活用いたします。

5) 厚真町子ども応援基金

匿名希望者様により造成された、胆振東部地震被災地である厚真町の子どもを支援する活動に助成する基金です。助成団体を指定する助成事業であり公募はしませんでした。実施団体からは年度ごとに事業計画を出していただき、助成金を拠出します。

2021 年助成額 185 万円、助成予定総額 500 万円

6)北海道災害復興支援基金コロナ特別枠

北海道災害復興支援基金として、寄付募集を行い、総額 30 万円の寄付をいただきました。採択 5 団体にグループインタビューを行い、コロナ禍の NPO 活動について伺いました。助成をもって一区切りとして、寄付募集を停止しました。

助成 5 団体、助成総額 27 万円

7) 47 コロナ基金通常枠助成

コロナ禍で運営体制を見直し変化を目指す NPO に助成をします。伴走支援者に委託費をつけることができるのが特徴となっています。

助成 2 団体、助成総額 71.9 万円

8)47 コロナ基金医療助成

公益財団法人さなぶりが運営する「47 コロナ基金」に対して、全国の医療機関への寄付の申し出があり、同基金に参加している当会が北海道の医療機関への助成配分を担うことになりました。北海道内各地の NPO 支援センターのみなさまに、医療機

関についての情報提供を受け、旭川、帯広、函館の合計 5 つの医療機関への助成が実現しました。

助成 5 医療機関、助成総額 649 万円(11 月までに完了予定)

2. 個人や団体等からの基金の原資を増やす下記の活動を行いました。

1)各基金の寄付額は以下の通りです。

基金名	金額 [円]	備考
越智基金	0	寄付受付を終了し、市民活動支援基金に移行します。
北のNPO基金 【市民活動支援基金】	290,400	越智基金の後継と位置付けられる、市民活動向け・用途限定なし・少額助成を意図した基金です。
コープ 2018 年 北海道地震ボランティア応援基金	0	北海道生協連様により、胆振東部地震被災地の活動を支援するために造成された冠基金です。総額 900 万円、寄付募集はしません。
いぶり基金	117,510 円	胆振東部地震被災地における NPO 等支援活動のために造成されました。寄付募集は 2020 年度までで終了しました。
いぶり基金特別枠	0	バイナンス様の寄付により胆振東部地震被災地の中長期的支援のために造成されました。総額 500 万円、寄付募集はしません。
厚真町子ども応援基金	0	匿名様より、胆振東部地震被災地で活動する団体を指定した冠基金です。総額 500 万円、寄付募集はしません。
Club Med Tomamu	0	「Green Beats Tomamu Hokkaido」の収益金を活用した、胆振東部地震被災地支援活動団体を指定した総額 1276000 円の冠基金です。寄付募集はしません。
宮本英基金	0	宮本氏による野外体験活動を行う団体への助成を行う基金。総額 330 万円、寄付募集はしません。
まちのプロジェクト基金	249,000 円	2021 年以降第 2 期寄付集めの予定
東日本被災者支援基金	0	運営終了
北海道災害復興支援基金	262,745 円	いぶり基金の後継と位置付けられる、平時から災害に備え、支援団体の活動を支える基金。ヤフーネット基金に登録中(いぶり基金のかわりに登録)。
北海道災害復興支援基金コロナ特別		コロナ起因により影響を受けた市民活動やコロナ感染症対策活動への助成目的

		の基金。
ハンドくんファンド	487,772	北の NPO 基金の運営自体を支援していただくために造成された基金です。ヤフーネット基金登録中。
合計	1,407,427 円	

3. 北のNPO基金の活動

■北のNPO基金の専用サイトの運営のほか、北海道災害復興支援基金、いぞう寄付の窓口のサイトを運営しています。月あたりのページビューは北のNPO基金で700あまりです。

SNSは、ツイッターが70フォロー、フェイスブックは北海道NPOサポートセンターと共用しておりおよそ500いいね、北海道災害復興支援基金としてのツイッターがおよそ40フォロー、フェイスブックいいねが150ほどです。

昨年から引き続きヤフーネット基金に北海道NPOファンドの運営支援をしていただく「ハンド君ファンド」、また、北海道災害復興支援基金を登録しています。

4. 認定NPO法人北海道NPOファンドとしての活動

1) 税制優遇措置の認定を5年間更新

2021年5月に、札幌市より認定NPO法人の5年間の更新の通知を受けました。指摘の多くは対応しておりますが、会員についての規程や、業務委託、謝金額についての対応は、今後検討すべき事項です。

2) 企業との連携

小樽の企業から、自動販売機を活用して、北海道災害復興支援基金への継続的寄付をしたい旨問い合わせをいただき、当会理事2人が説明に伺いました。年度末までには実施にはいたっていませんが、引き続き検討している旨の返事をいただいております。

3)休眠預金活用に関わる活動

・一般財団法人日本民間公益活動連携機構の「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」の資金分配団体として「北海道リスタート事業～社会的居場所を失った人に新たなつながりを」を実施。

2020年7月に、休眠預金の民間公益活動への活用を管理する一般財団法人日本民間公益活動連携機構の「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」に内定、8月から公募開始しました。北海道NPOサポートセンター、北海道総合研究調査会との連携事業です。

合計11団体におよそ5000万円を助成します。単年度事業で、事業総額はおよそ6000万円。

採択団体は以下の通りです。

- 特定非営利活動法人大雪山自然学校 10月
- 特定非営利活動法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 10月
- 特定非営利活動法人いぶり自然学校 10月
- 特定非営利活動法人みなと計画 10月
- 一般社団法人北海道ブックシェアリング 10月
- 株式会社PLOW 10月
- 特定非営利活動法人くるくるネット 1月
- 一般社団法人あったらいいね 1月
- 特定非営利活動法人こどもサポートふらの 3月
- 特定非営利活動法人なごみ 3月
- 特定非営利活動法人ねっこぼっこのいえ 4月

・休眠預金助成の2020年度一般枠資金分配団体に内定

コープさっぽろ、北海道NPOサポートセンターとの連携により、総額5000万円程度、北海道内の3団体への助成を申請し、日本民間公益活動連携機構に採択されました。2024年初頭までの事業になります。

<採択された団体>

NPO 法人いきたす

NPO 法人のこたべ

一般社団法人十勝うらほろ楽舎

4)2018年度、2019年度、2020年度年賀寄付金助成事業「非営利公益活動の集成的成果を拡大するための社会的インパクト評価促進事業」

非営利公益活動の分野で経営資源に乏しい団体が活躍するためには、直接的な協働だけでなく、住民をも巻き込んだ間接的な協働が必要となる。本事業はモデル団

体に対して、社会的インパクト評価を実施し「コミュニティにとって望ましい変化」が起きる道筋を示し、NPO等の自発的社会的インパクト評価の実施を促し住民参加につなげることを目指します。未実施部分については助成金を返還しました。2020年度は、継続4団体に対して評価を実施しました。

5) 新型コロナウイルス感染症対策活動団体支援協議会-行政とNPOの連携枠組みに参加しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に対処するため、行政とまちづくり活動団体が連携し、一体となって助成の方向性を協議し、喫緊のニーズを踏まえた支援を迅速に進めることを目的に、2020年5月20日に設立。札幌市、札幌市市民活動サポートセンター、札幌チャレンジド、北海道NPOサポートセンターとともに運営メンバーとして参加。札幌市を対象としたさぽーとほっと基金助成の周知や広報などに関わったほか、北海道災害復興支援基金にコロナ特別枠助成を実施しました(1.参照)。

6) SIMI(社会的インパクトマネジメントイニシアチブ)賛同メンバー、全国コミュニティ財団協会正会員、全国レガシーギフト協会正会員として活動しました。

・SIMI(社会的インパクトマネジメントイニシアチブ)

社会的インパクト評価や組織評価は、助成事業やSDGsとの関連で語られることが増えており、当会としても、情報の収集や関連イベントの開催を検討しています。また2021年1月開催の、SIMIによるイベント「ソーシャル・インパクトデイ」に当会スタッフが登壇しました。現状当会は有料のメンバーシップではなく、賛同メンバーとして関わります。

・全国コミュニティ財団協会

47コロナ基金(さなぶり運営、全国コミュニティ財団協会協力)への参加が、主な活動でした。47コロナ基金は全国の地域に密着したコミュニティ財団による連携キャンペーンであり、各々の財団の規模の小ささを補う可能性があります。

【47コロナ基金助成事業を実施】

47コロナ基金北海道地区は、一般枠でおよそ90万円、医療支援においておよそ720万円の寄付をいただき当会に助成され、それぞれ2団体、5医療機関に配分する予定です(21年11月までに完了見込み)。

・全国レガシーギフト協会

遺贈寄付の相談窓口業務を実施。今年7月には、京都地域創造基金の■■■■氏をお招きしてミニセミナーを実施、また9月の遺贈寄付ウィークにはコミュニティ財団と一

緒に企画参加しました。各地のコミュニティ財団との連携企画が少しずつ実現した年でした。

5) いぞう寄付の相談窓口業務

全国レガシーギフト協会に加盟し遺贈寄付の相談窓口を開設しています。相談は2件ありました。専用サイトを開設し広報をしています。遺贈の相談だけでなくNPO解散についての問い合わせも予想され、北海道NPOサポートセンターとも連携しながらそれらの相談に対応します。超高齢化社会を迎え、独り身の方や高齢の方が社会や故郷に有意義に財産を活用してほしいという相談が増えていくことが予想されます。

貸借対照表

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2019年 9月30日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	29,938		
普通預金	22,870,103		
現金・預金計	22,900,041		
(売上債権)			
未収金	120,200		
売上債権計	120,200		
流動資産合計		23,020,241	
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
出資金	4,000,000		
投資その他の資産計	4,000,000		
固定資産合計		4,000,000	
資産合計			27,020,241
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金	825,912		
前受金	1,158,311		
仮受金	200		
流動負債合計		1,984,423	
負債合計			1,984,423
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		6,261,580	
当期正味財産増減額		18,774,238	
正味財産合計			25,035,818
負債及び正味財産合計			27,020,241

財 産 目 録

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2019年 9月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	29,938
普通 預金	22,870,103
北海道労働金庫 本店	(13,600,212)
北洋銀行 北七条支店	(4,033,204)
北海道労働金庫 本店	(4,082,023)
郵便振替 ゆうちょ銀行	(1,154,664)
現金・預金 計	<u>22,900,041</u>

(売上債権)

未 収 金	120,200
クレジット寄附金	(120,200)
売上債権 計	<u>120,200</u>

流動資産合計

23,020,241

【固定資産】

(投資その他の資産)

出 資 金 NPOバンク事業組合	<u>4,000,000</u>
投資その他の資産 計	<u>4,000,000</u>

固定資産合計

4,000,000

資産合計

27,020,241

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金 助成事業経費	825,912
前 受 金 前受助成金	1,158,311
仮 受 金	200
流動負債合計	<u>1,984,423</u>

流動負債合計

1,984,423

負債合計

1,984,423

正味財産

25,035,818

活 動 計 算 書

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

自 2018年10月 1日 至 2019年 9月30日

【経常収益】			
【受取寄付金】			
受取寄付金		30,156,789	
【受取助成金等】			
受取助成金		2,056,826	
【事業収益】			
基金管理運営収益	1,745,000		
研修事業収益	136,000	1,881,000	
【その他収益】			
受取利息	118		
雑収益	5,555	5,673	
経常収益計			34,100,288
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
業務委託費	1,247,912		
諸謝金	650,000		
印刷製本費	105,246		
広報費	162,500		
会議費	41,225		
会場費	212,976		
旅費交通費	344,632		
通信運搬費	46,831		
消耗品費	356		
租税公課	800		
支払手数料	153,705		
支払助成金	12,021,711		
支払寄付金	110,000		
その他経費計	15,097,894		
事業費計		15,097,894	
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
旅費交通費	5,260		
通信運搬費	51,276		
賃借料	120,000		
諸会費	50,000		
支払手数料	1,620		
その他経費計	228,156		
管理費計		228,156	
経常費用計			15,326,050
当期経常増減額			18,774,238
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			18,774,238
当期正味財産増減額			18,774,238
前期繰越正味財産額			6,261,580
次期繰越正味財産額			25,035,818

財務諸表の注記

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2019年 9月30日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

【事業費の内訳】

事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	<本部>	<越智基金>	<西日本基金>	<いぶり基金>	<コープ基金>	<米山友愛基金>	<市民活動支援基金>	<こども基金>	<プロジェクト基金>	<合計>
【経常収益】										
受取寄付金	238,000	100,000		15,854,109	9,000,000	200,000	5,000		4,759,680	30,156,789
事業収益	136,000				1,745,000					1,881,000
受取助成金	2,056,826									2,056,826
雑収益	5,673									5,673
経常収益計	2,436,499	100,000	0	15,854,109	10,745,000	200,000	5,000	0	4,759,680	34,100,288
【経常費用】										
1. 事業費										
(1) 人件費										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費										
業務委託費	1,247,912									1,247,912
諸謝金	530,000				120,000					650,000
印刷製本費	53,491				9,482			42,273		105,246
広報費	94,000				50,000			18,500		162,500
会議費	32,530				7,234			1,461		41,225
会場費	212,976									212,976
旅費交通費	335,604				3,528			5,500		344,632
通信運搬費	41,917				3,466			1,448		46,831
消耗品費	356									356
租税公課	800									800
支払手数料	142,293				10,188	432		792		153,705
支払助成金			100,000	2,540,000	4,918,000	180,000		4,283,711		12,021,711
支払寄付金			110,000							110,000
その他経費計	2,691,879	0	210,000	2,540,000	5,121,898	180,432	0	0	4,353,685	15,097,894
事業費計	2,691,879	0	210,000	2,540,000	5,121,898	180,432	0	0	4,353,685	15,097,894
2. 管理費										
(1) 人件費										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費										
旅費交通費	5,260									5,260
通信運搬費	51,276									51,276
賃借料	120,000									120,000
諸会費	50,000									50,000
支払手数料	1,620									1,620
その他経費計	228,156	0	0	0	0	0	0	0	0	228,156
管理費計	228,156	0	0	0	0	0	0	0	0	228,156
経常費用計	2,920,035	0	210,000	2,540,000	5,121,898	180,432	0	0	4,353,685	15,326,050
経理区分振替額	2,467,165	0	0	△ 500,000	△ 1,541,102	△ 19,568	△ 500	0	△ 405,995	0
当期正味財産増減額	1,983,629	100,000	△ 210,000	12,814,109	4,082,000	0	4,500	0	0	18,774,238

【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は25,035,818円ですが、そのうち使途が特定されている正味財産は下記の基金で使用される財産です。したがって、使途等が制約されていない正味財産は、2,191,944円です。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額
越智基金	4,746,105	100,000	0	4,846,105
西日本基金	210,000	0	210,000	0
いぶり基金	1,097,160	15,854,109	3,040,000	13,911,269
コープ基金	0	9,000,000	4,918,000	4,082,000
米山友愛基金	0	180,000	180,000	0
市民活動支援基金	0	4,500	0	4,500
プロジェクト基金	0	4,283,711	4,283,711	0
合計	6,053,265	29,422,320	12,631,711	22,843,874

【固定資産の増減内訳】

固定資産の内訳は以下の通りです。

科目	前期繰越額	当期増加額	当期減少額	次期繰越額
出資金	5,000,000	0	1,000,000	4,000,000
合計	5,000,000	0	1,000,000	4,000,000

貸借対照表

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2020年 9月30日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金		14,459	
普通預金		13,526,458	
現金・預金計		<u>13,540,917</u>	
(売上債権)			
未収金		1,625,300	
売上債権計		<u>1,625,300</u>	
流動資産合計			15,166,217
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
出資金		4,000,000	
投資その他の資産計		<u>4,000,000</u>	
固定資産合計			<u>4,000,000</u>
資産合計			<u>19,166,217</u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金		1,425,000	
前受金		553,730	
流動負債合計		<u>1,978,730</u>	
負債合計			1,978,730
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		25,035,818	
当期正味財産増減額		<u>△ 7,867,819</u>	
正味財産合計			<u>17,167,999</u>
負債及び正味財産合計			<u>19,146,729</u>

財 産 目 録

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2020年 9月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	14,459	
普通 預金	13,526,458	
北海道労働金庫 本店	(2,319,250)	
北洋銀行 北七条支店	(6,105,848)	
北海道労働金庫 本店	(4,082,058)	
郵便振替 ゆうちょ銀行	(1,019,302)	
現金・預金 計	<u>13,540,917</u>	

(売上債権)

未 収 金	1,625,300	
寄付金 (クレジット決済)	(200,300)	
一財) 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA) (休眠預金助成事業)	(1,425,000)	
売上債権 計	<u>1,625,300</u>	

流動資産合計

15,166,217

【固定資産】

(投資その他の資産)

出 資 金 NPOバンク事業組合	4,000,000	
投資その他の資産 計	<u>4,000,000</u>	

固定資産合計

4,000,000

資産合計

19,166,217

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金 休眠預金助成事業経費	1,425,000	
その他経費	19,488	
前 受 金 市民社会創造ファンド	<u>553,730</u>	

流動負債合計

1,998,218

負債合計

1,998,218

正味財産

17,167,999

活 動 計 算 書

特定非営利活動法人北海道NPOファンド 自 2019年10月 1日 至 2020年 9月30日

【経常収益】		
【受取寄付金】		
受取寄付金	6,434,778	
【受取助成金等】		
受取助成金	3,318,141	
【事業収益】		
事業収益	137,000	137,000
【その他収益】		
受取 利息	170	
雑 収 益	0	170
経常収益 計		9,890,089
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費計	342,000	
(その他経費)		
業務委託費	1,372,160	
諸 謝 金	669,685	
印刷製本費	26,228	
広 報 費	32,569	
会 場 費	25,442	
旅費交通費	282,590	
通信運搬費	109,038	
賃 借 料	63,000	
支払手数料	73,490	
支払助成金	14,499,000	
その他経費計	17,153,202	
事業費 計		17,495,202
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
旅費交通費	1,030	
通信運搬費	31,317	
消耗品 費	2,419	
賃 借 料	120,000	
諸 会 費	100,000	
租税 公課	3,450	
支払手数料	4,490	
その他経費計	262,706	
管理費 計		262,706
経常費用 計		17,757,908
当期正味財産増減額		△ 7,867,819
前期繰越正味財産額		25,035,818
次期繰越正味財産額		17,167,999

財務諸表の注記

特定非営利活動法人北海道NPOファンド

2020年 9月30日 現在

【重要な会計方針】
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

【事業別損益の内訳】
事業別損益の状況は以下の通りです。

	運営(ハンドクン基金)	越智基金	市民活動支援基金	コープ 2018年北海道地震ボランティア応援基金	いぶり基金	いぶり基金特別枠	厚真町子ども応援基金	子ども基金	まちのプロジェクト基金	宮本英基金	クラブメッドママ
【経常収益】											
受取寄付金	69,001	0	602,200	0	776,577	0	0	0	0	3,300,000	1,276,000
受取助成金	1,893,141	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	137,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	2,099,312	0	602,200	0	776,577	0	0	0	0	3,300,000	1,276,000
【経常費用】											
【事業費】											
(人件費)											
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(その他経費)											
業務委託費	452,160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	569,685	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	26,228	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広報費	32,569	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会場費	25,442	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	282,590	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	109,038	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	73,490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払助成金	0	990,000	0	3,000,000	4,609,000	2,000,000	900,000	0	0	3,000,000	0
その他経費計	1,571,202	990,000	0	3,000,000	4,609,000	2,000,000	900,000	0	0	3,000,000	0
事業費計	1,571,202	990,000	0	3,000,000	4,609,000	2,000,000	900,000	0	0	3,000,000	0
【管理費】											
旅費交通費	1,030	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	31,317	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	2,419	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	3,450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	4,490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費計	262,706	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	1,833,908	990,000	0	3,000,000	4,609,000	2,000,000	900,000	0	0	3,000,000	0
経理区分振替額	520,920	0	-60,220	8,000	0	0	0	0	0	-300,000	-127,600
当期正味財産増減	786,324	-990,000	541,980	-2,992,000	-3,832,423	-2,000,000	-900,000	0	0	0	1,148,400
前期繰越正味財産	2,191,944	4,846,105	4,500	4,082,000	4,901,269	4,010,000	5,000,000	0	0	0	0
次期繰越正味財産	2,978,268	3,856,105	546,480	1,090,000	1,068,846	2,010,000	4,100,000	0	0	0	1,148,400

※コープ 2018年北海道地震ボランティア応援基金につきましては、前年度において運営経費から拠出しなければならぬものが含まれておりましたので、今年度振替を起こしていません。

北海道災害復興支援基金	北海道災害復興支援基金コロナ特別枠	北海道災害復興支援基金47コロナ基金	休眠預金コロナ特別	合計
111,000	300,000	0	0	6,434,778
0	0	0	1,425,000	3,318,141
0	0	0	0	137,000
0	0	0	0	170
111,000	300,000	0	1,425,000	9,890,089
0	0	0	342,000	342,000
0	0	0	920,000	1,372,160
0	0	0	100,000	669,685
0	0	0	0	26,228
0	0	0	0	32,569
0	0	0	0	25,442
0	0	0	0	282,590
0	0	0	0	109,038
0	0	0	63,000	63,000
0	0	0	0	73,490
0	0	0	0	14,499,000
0	0	0	1,083,000	17,153,202
0	0	0	1,425,000	17,495,202
0	0	0	0	1,030
0	0	0	0	31,317
0	0	0	0	2,419
0	0	0	0	120,000
0	0	0	0	100,000
0	0	0	0	3,450
0	0	0	0	4,490
0	0	0	0	262,706
0	0	0	1,425,000	17,757,908
-11,100	-30,000	0	0	0
99,900	270,000	0	0	-7,867,819
0	0	0	0	25,035,818
99,900	270,000	0	0	17,167,999

【使途等が制約された寄付等の内訳】
使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は17,167,999円ですが、そのうち使途が特定されている正味財産は下記の基金で使用される財産です。したがって、使途等が制約されていない正味財産は、2,978,268円です。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額
越智基金	4,846,105	0	990,000	3,856,105
市民活動支援基金	4,500	602,200	60,220	546,480
コープ 2018年北海道地震ボランティア応援基金	4,082,000	0	2,992,000	1,090,000
いぶり基金	4,901,269	776,577	4,609,000	1,068,846
いぶり基金特別枠	4,010,000	0	2,000,000	2,010,000
厚真町子ども応援基金	5,000,000	0	900,000	4,100,000
子ども基金	0	0	0	0
まちのプロジェクト基金	0	0	0	0
宮本英基金	0	3,300,000	3,300,000	0
クラブメッドママ	0	1,276,000	127,600	1,148,400
北海道災害復興支援基金	0	111,000	11,100	99,900
北海道災害復興支援基金コロナ特別枠	0	300,000	30,000	270,000
北海道災害復興支援基金47コロナ基金	0	0	0	0
休眠預金コロナ特別	0	1,425,000	1,425,000	0
合計	22,843,874	7,790,777	16,444,920	14,189,731

【固定資産の増減内訳】
固定資産の内訳は以下の通りです。

科目	前期繰越額	当期増加額	当期減少額	次期繰越額
出資金	4,000,000	0	0	4,000,000
合計	4,000,000	0	0	4,000,000

活動予算書(案)

2020年10月1日から2021年9月30日まで

特定非営利活動法人 北海道NPOファンド

単位:円

科目	前年度決算	予算	備考	
I 経常収益				
受取寄付金	6,434,778	4,000,000	災害復興支援基金 200、まちプロ150、市 民活動支援基金50	
事業収益	137,000	100,000		
受取助成金	3,318,141	71,416,000		
受取利息・その他収入	170	200		
経常収益計	9,890,089	75,516,200		
II 経常費用				
1.事業費				
越智基金	990,000	1,270,000	基金残額 特別枠を含めた額	
市民活動支援基金	0	0		
コープボランティア基金	3,000,000	1,090,000		
いぶり基金	7,509,000	4,200,000		
宮本英基金	3,000,000	0		
クラブメッドトマム	0	0		
北海道災害復興支援基金	0	2,000,000		
休眠預金助成事業(緊急枠)	1,425,000	60,252,000		
休眠預金助成事業(通常枠)		10,164,000		
その他事業経費	1,571,202	1,200,000		
事業費合計	17,495,202	80,176,000		
2.管理費				
旅費交通費	1,030	40,000	北海道NPOサポートセ ンターへ レガシーギフト協会10 万円、コミュニティ財団 協会5万円	
通信運搬費	31,317	40,000		
消耗品 費	2,419	3,000		
賃 借 料	120,000	0		
諸 会 費	100,000	150,000		
租税 公課	3,450	10,000		
支払手数料	4,490	5,000		
管理費計	262,706	248,000		
経常費用計	17,757,908	80,424,000		
当期正味財産増減額	△ 7,867,819	△ 4,907,800		
前期繰越正味財産額	25,035,818	17,167,999		
次期繰越正味財産額	17,167,999	12,260,199		

その他の事業会計 実施予定なし

【法人基礎データの入力】

◎下記の□に「法人名」と「事業年度」と「前期繰越正味財産額」を入力してください。

● 法人名: 北海道NPOファンド

● 事業年度: 2020年10月1日 ~ 2021年9月30日

※西暦で入力・表示したい場合は、「2011」年等と入力し、年号を付けて入力・表示したい場合は、「平成23」年等と入力してください。

● 前期繰越正味財産額: [特定非営利活動に係る事業] 17,167,999円 [その他の事業] 0円 [合計] 17,167,999円

【検算】

◎上記の各シートを入力した後、下記の各数値を入力し、各数値が一致するかを確認してください。

活動計算書の次期繰越正味財産額:		(活動計算書の一番下の数値)
貸借対照表の正味財産合計:		(貸借対照表の下から2番目の数値)
財産目録の正味財産:		(財産目録の一番下の数値)
「一致」又は「不一致」	一致	(上記の全の数値が一致すれば「一致」と表記されます)

※財務諸表のサンプルを4パターンに分けてエクセルのデータとして用意しています。

各法人の財政規模や活動内容等に応じて、それぞれの4つのパターンの各シート(活動計算書・貸借対照表・注記・財産目録)を組み替えたり、科目等を追加・削除・修正するなどしてお使いください。

活動計算書

2020年10月1日～2021年9月30日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取寄付金			
受取寄付金		1,407,427	
2. 受取助成金等			
受取助成金		82,709,592	
3. その他収益			
受取利息	90		
雑収益	4,863	4,953	
経常収益計			84,121,972
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	4,474,100		
通勤費	104,800		
法定福利費	295,705		
人件費計	4,874,605		
(2) その他経費			
業務委託費	9,305,295		
諸謝金	1,310,000		
印刷製本費	96,898		
広報費	40,000		
会場費	3,560		
旅費交通費	288,834		
通信運搬費	107,968		
消耗品費	3,802		
地代家賃	558,977		
減価償却費	56,760		
支払手数料	135,904		
支払助成金	72,262,170		
その他経費計	84,170,168		
事業費計		89,044,773	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
通信運搬費	38,070		
消耗品費	385		
諸会費	50,000		
租税公課	1,050		
支払手数料	15,840		
その他経費計	105,345		
管理費計		105,345	
経常費用計			89,150,118
当期正味財産増減額			△ 5,028,146
前期繰越正味財産額			17,167,999
次期繰越正味財産額			12,139,853

貸借対照表

2021年 9月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	224,887		
普通預金	42,069,401		
未収金	14,993		
立替金	35,000		
流動資産合計		42,344,281	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
什器備品	113,520		
(2)投資その他の資産			
出資金	4,000,000		
固定資産合計		4,113,520	
資産合計			46,457,801
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,375,889		
前受金	22,865,148		
預り金	76,911		
流動負債合計		34,317,948	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			34,317,948
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		17,167,999	
当期正味財産増減額		△ 5,028,146	
正味財産合計			12,139,853
負債及び正味財産合計			46,457,801

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定に基づいて、有形固定資産は定率法で、無形固定資産は定額法で償却をしています。

なお、取得価額が10万円以上20万円未満の減価償却資産については、取得価額の合計額の3分の1に相当する金額をその業務の用に供した年以後3年間の各年分において償却する一括償却法で償却をしています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	運営(ハンドク ん基金)	越智基金	市民活動支援 基金	コープ 2018 年北海道地震 ボランティア応 援基金	いぶり基金	いぶり基金特 別枠	厚真町子ども応 援基金	子ども基金	まちのプロジェ クト基金
I 経常収益									
受取寄付金	487,772	0	290,400	0	117,510	0	0	0	249,000
受取助成金等	340,290	0	0	0	0	0	0	0	0
その他収益	4,953	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	833,015	0	290,400	0	117,510	0	0	0	249,000
II 経常費用									
事業費									
(1) 人件費									
給与手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通勤費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費									
業務委託費	180,000	0	0	0	0	0	0	0	0
諸謝金	290,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000
印刷製本費	65,531	0	0	0	0	0	0	0	11,506
広報費	40,000	0	0	0	0	0	0	0	0
会場費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	12,272	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	18,645	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	1,452	0	0	0	0	0	0	0	0
地代家賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	73,974	0	0	0	0	0	0	0	1,540
支払助成金	0	2,085,000	0	1,250,000	900,000	0	1,850,000	0	0
その他経費計	681,874	2,085,000	0	1,250,000	900,000	0	1,850,000	0	113,046
事業費計	681,874	2,085,000	0	1,250,000	900,000	0	1,850,000	0	113,046
管理費									
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費									
通信運搬費	38,070	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	385	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	50,000	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	1,050	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	15,840	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費計	105,345	0	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	787,219	2,085,000	0	1,250,000	900,000	0	1,850,000	0	113,046
経理区分間振替額	87,664	0	△ 29,040	286,356	△ 286,356	0	0	0	△ 37,350
当期正味財産増減額	133,460	△ 2,085,000	261,360	△ 963,644	△ 1,068,846	0	△ 1,850,000	0	98,604
前期繰越正味財産額	2,978,268	3,856,105	546,480	1,090,000	1,068,846	2,010,000	4,100,000	0	0
次期繰越正味財産額	3,111,728	1,771,105	807,840	126,356	0	2,010,000	2,250,000	0	98,604

科 目	宮本英基金	クラブメッドトマム	北海道災害復興支援基金	北海道災害復興支援基金コロナ特別枠	北海道災害復興支援基金47コロナ基金	休眠預金コロナ特別	休眠預金通常	合計
I 経常収益								
受取寄付金	0	0	262,745	0	0	0		1,407,427
受取助成金等	0	0	0	0	8,008,850	56,116,986	18,243,466	82,709,592
その他収益	0	0	0	0	0	0		4,953
経常収益計	0	0	262,745	0	8,008,850	56,116,986	18,243,466	84,121,972
II 経常費用								
事業費								
(1) 人件費								
給与手当	0	0	0	0	0	2,052,000	2,422,100	4,474,100
通勤費	0	0	0	0	0	0	104,800	104,800
法定福利費	0	0	0	0	0	0	295,705	295,705
人件費計	0	0	0	0	0	2,052,000	2,822,605	4,874,605
(2) その他経費								
業務委託費	0	0	0	0	0	4,955,295	4,170,000	9,305,295
諸謝金	0	0	0	0	0	680,000	240,000	1,310,000
印刷製本費	0	0	0	0	4,081	0	15,780	96,898
広報費	0	0	0	0	0	0	0	40,000
会場費	0	0	0	0	0	3,560	0	3,560
旅費交通費	0	0	0	0	0	35,168	241,394	288,834
通信運搬費	0	0	0	0	0	86,203	3,120	107,968
消耗品費	0	0	0	0	0	2,350	0	3,802
地代家賃	0	0	0	0	0	384,000	174,977	558,977
減価償却費	0	0	0	0	0	0	56,760	56,760
支払手数料	0	0	0	0	440	28,160	31,790	135,904
支払助成金	0	1,153,400	0	270,000	6,490,000	47,890,250	10,373,520	72,262,170
その他経費計	0	1,153,400	0	270,000	6,494,521	54,064,986	15,307,341	84,170,168
事業費計	0	1,153,400	0	270,000	6,494,521	56,116,986	18,129,946	89,044,773
管理費								
(1) 人件費								
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費								
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	38,070
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	385
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	50,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	1,050
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	15,840
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	105,345
経常費用計	0	1,153,400	0	270,000	6,494,521	56,116,986	18,129,946	89,150,118
経理区分間振替額	0	5,000	△ 26,274	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	0	△ 1,148,400	236,471	△ 270,000	1,514,329	0	113,520	△ 5,028,146
前期繰越正味財産額	0	1,148,400	99,900	270,000	0	0	0	17,167,999
次期繰越正味財産額	0	0	336,371	0	1,514,329	0	113,520	12,139,853

3. 【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は12,139,853円ですが、そのうち使途が特定されている正味財産は下記の基金で使用される財産です。したがって、使途等が制約されていない正味財産は、3,111,728円です。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
越智基金	3,856,105	0	2,085,000	1,771,105	
市民活動支援基金	546,480	290,400	29,040	807,840	
コープ 2018年北海道地震ボランティア応援基金	1,090,000	286,356	1,250,000	126,356	
いぶり基金	1,068,846	117,510	1,186,356	0	
いぶり基金特別枠	2,010,000	0	0	2,010,000	
厚真町子ども応援基金	4,100,000	0	1,850,000	2,250,000	
子ども基金	0	0	0	0	
まちのプロジェクト基金	0	249,000	150,396	98,604	
宮本英基金	0	0	0	0	
クラブメッドトマム	1,148,400	0	1,148,400	0	
北海道災害復興支援基金	99,900	262,745	26,274	336,371	
北海道災害復興支援基金コロナ特別枠	270,000	0	270,000	0	
北海道災害復興支援基金47コロナ基金	0	8,008,850	6,494,521	1,514,329	
休眠預金コロナ特別	0	56,116,986	56,116,986	0	
休眠預金通常	0	18,243,466	18,129,946	113,520	什器備品170,280のうち113,520円が未償却となっています。
合計	14,189,731	83,575,313	88,736,919	9,028,125	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(1)有形固定資産						
什器備品	0	170,280	0	170,280	56,760	113,520
(2)投資その他の資産						
出資金	4,000,000	0	0	4,000,000	0	4,000,000
合 計	4,000,000	170,280	0	4,170,280	56,760	4,113,520

財産目録

2021年 9月 30日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手許現金	224,887	
北海道労働金庫 本店	577,081	
北洋銀行 北七条支店	8,111,665	
北海道労働金庫 本店	4,082,092	
郵便振替 ゆうちょ銀行	352,270	
北洋銀行 薄野支店	7,745,471	
北海道銀行 薄野支店	21,200,822	
未収金		
未精算諸経費	14,993	
立替金		
職員給与	35,000	
流動資産合計		42,344,281
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品		
パソコン1台	113,520	
(2)投資その他の資産		
出資金		
NPOバンク事業組合	4,000,000	
固定資産合計		4,113,520
資産合計		46,457,801
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
休眠預金助成事業経費	5,715,295	
支払助成金	5,285,000	
給与手当	300,423	
その他諸経費	75,171	
前受金		
休眠預金(通常枠)助成金	18,730,134	
休眠預金(緊急枠)助成金	4,135,014	
預り金		
社会保険料	24,438	
源泉所得税	45,273	
住民税	7,200	
流動負債合計		34,317,948
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		34,317,948
正味財産		12,139,853

監査報告書

認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド

代表理事 樽見弘紀 殿

2021 年 12 月 13 日

認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド

監 事 瀧谷 和隆

監事は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、2020 年 10 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表及び活動計算書）及びその注記並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

財務諸表及びその注記並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上